



# ちばの学童保育

2010年7月11日発行84号

全国研報告	本号の紙面	1頁
／ほいく誌紹介		2頁
船橋市の学童保育／情勢		3頁
特別新人研修／総会 報告		4頁

発行者 千葉県学童保育連絡協議会 船橋市本町3-4-3 千葉保育センター内  
 TEL047-424-8102 FAX047-424-8108 e-mail chibagakudo@nifty.com

## 全国研 in ちば 実行委員会報告



第2回実行委員会 平成22年5月23日(日)9:30~

船橋勤労市民センター

第2回では、各地域の担当係りが決定し、全体報告の後、それぞれの地域に分かれて話し合いがもたれました。これからの日程や内容確認など、いよいよ本格的に全国研へ向けての活動がスタートです。

第3回実行委員会 平成22年6月27日(日)9:30~

船橋勤労市民センター

6/12 幕張メッセ下見報告や予算報告の後、今後の事務局体制強化の説明があり、歓迎行事や参加者へのお土産、交流会について検討しました。歓迎行事には千葉市の指導員が、お土産には市川市の指導員が責任者となり、進められることに決定しました。

### 千葉県参加者申し込み締め切り 9月10日

#### 各部会からの声

##### 全体会：白井市

連協加盟学童の役割分担をし、いよいよ具体的な活動が始まるどころです。しかも嬉しいことに指導員会のつながりで未加盟の学童も要員として共に動いてくれることになりました。この輪がもっと広がるようにみんなで盛り上げていきます！

##### 受付：八千代市

指導員の正規職員を複数配置、4年生以降の受け入れ、大規模学童の解消、保育料の値下げの4点を活動の柱とし、各学童保育所が抱える課題にも素早く対応できるよう子ども達や指導員の先生方、保護者の皆様に少しでも良かったと言ってもらえるよう頑張っています。

##### 弁当・美化：流山市

あたふたとしている間に、日は過ぎるばかりで、スムーズに運んでいるとは言えませんが、ここまできたら、頑張るしかないですよ。実行委員さん、要員さんの力を借りながら、負担だけを感じさせるのではなく、「参加して楽しかった」の声が聞けるようがんばります！



八千代市保護者

##### 保育：八千代市指導員

先日、メッセの下見をし、規模の大きさに驚いています。保育のイメージがまだ具体的に見えてこないのですが、長〜い一日、子ども達が安全に、楽しく過ごせるようにスタッフ一同がんばらねば！と思っています。

##### 組織：有志

まずは県内すべて市町村を訪問し、後援依頼、チラシ配布、参加要請のとりくみを開始。「担当一年目なのでぜひ参加したい」「全世帯に配布する」という返事もあり、手応え十分です。千葉も広い！10コースに分け7月中にすべて回りきる計画です。

##### 書籍販売：流山市

これまでに経験したことのないBIGなイベントです。全国からの参加する人達が、ちょっとした「千葉の思い出」を持ち帰られるような販売を・・・と思っています。これからも苦戦しながらも、楽しく進められるように頑張っていきたいと思っています。

### 案内：四街道市

案内係り四街道市の菊池と尾添です。子ども達のためがんばっています。一人でも多くの参加と、皆様が無事に会場に行けるように、協力体制をとっていこうと思います。明るく元気な笑顔でお迎えできるように、まずはお肌の手入れからがんばります。(苦笑)



四街道市保護者

歓迎行事とお土産の紹介は次号です。  
お楽しみに！

### 速報：松戸市

「千葉で全国研～。大変すぎる！」と四月実行委員会に足取り重くしての参加。反対に過去に速報を担当したOBは「速報はおもしろい！感動する！」と大合唱の大盛り上がり。その声に押されて担当することに……。でも、準備が始まると血が騒ぎ始める。仲間が増えてその気になってくる！みんな元気になってくる！！手ごたえを少しずつ感じています。きっかけを作ってくれたOBの「感動するよ」と経験からくる言葉、人から人へのつながりに感謝しています。速報をとおして全国の人が元気になれるようにがんばります。

### 分科会：習志野市

分科会是要員の確保も済んで、全国から参加されたみなさんが“千葉の研修良かった”と思って頂く会場づくりをしたいとがんばっています。みなさまも、教室に“あったらいいな”のアイデアや、会場づくりのアイデア等…お寄せください。

今後の予定7月：責任者会場下見(4市実行委員分科会代表者)8月：全体会場下見(8月下旬)

### 下見へ行ってきました！平成22年6月12日(土)10:00

～ 全体会場となる幕張メッセに地域の担当者と下見へ行ってきました。一口に「メッセ」と言っても国際会議場など色々な施設があります。今回全体会場で利用するのは「アリーナ」となります。アリーナへ一足踏み入れれば、その大きさにビックリ！スポーツから音楽イベントまで何でも行なえるハイテク施設です。メイン会場はもちろん控え室も完璧な受け入れ体制で利用可能です。受付は販売は？要員控え室は？搬入搬出どうしよう・・・それぞれが一つ一つ丁寧に見てまわりました。

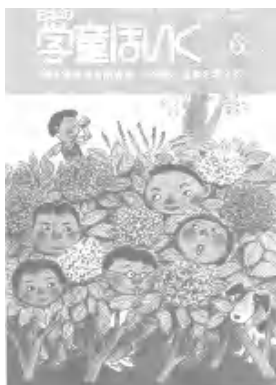


第4回実行委員会 7月11日(日)9:30~11:30 習志野勤労会館  
第5回実行委員会 8月29日(日) 未定

## 日本の学童ほいく

日本で唯一の学童保育に関する専門誌です。月刊で発行。1冊330円(送料76円)でお届けします。

学童保育に関するありとあらゆる情報が満載。全国で4万人の人が購読しています。



6月号表紙

### 6月号 特集 学童保育指導員一役割と仕事を考える より

#### ● 6月号「「保護者の思いを知ることで」石川県指導員 松野聖子氏 《ちよつと紹介……》

私が「学童保育」という言葉を身近に感じたのは、(中略)当初は、子どもたちが群れて遊ぶ姿を見て懐かしさを感じていましたが、そのうち、だた一緒に過ごし、遊ぶだけの仕事ではないと感じるようになりました。指導員になって三年目ぐらいの時、父母会の役員をしていた二年生の女の子の父親から「どんな小さなことでもいいから子どもの口から聞くのと先生から聞くのとは違うし、先生の口から言って欲しい」と言われたことがありました。……(後略)

続きは本誌で！



## 船橋市葛飾放課後ルーム

保護者 小川博美

私たちの父母会では、1年を通してレクリエーションを企画・実施し、父母や子ども同士の親睦を図っています。

はじめは、春のバーベキュー！“来たときは顔見知り、帰る時にはお友達”をテーマに、バーベキューをしながら交流し、新しく入所した1年生を迎え入れます。

メインイベントはサマーキャンプ！親子が別々の班に所属し、1泊2日でウォークラリーや飯ごう炊さん、キャンプファイヤー等をおこないます。去年は、カヌーに乗りましたが、なかなかうまく進めず後ろに下がってしまったり、他の船にぶつかったり…子どもも大人もびしょぬれになって楽しみました。



子どもたちは、いつもと違う自然の中でおおはしゃぎ！ですが、お父さん・お母さんたちは、班の子どもたちをみるのに一所懸命、時には本気で怒ったりもします。



でも、そんな2日間を過ごすことによって、普段一緒に過ごしているお友達の事がよくわかり、また、家では気づかなかった子どもの良いところを、一緒にすごしたお父さんやお母さんに教えてもらえたりもします。

冬は、餅つき大会！実際に臼と杵でお餅をつき、みんなで餅を食べます。子ども達も頑張ってペタンペタン、餅つき体験。たくさんの方が集まって、大賑わいです。

こういったレクリエーションを通じて、みんなが顔を合わせて楽しくすごしながら、普段の生活の中でも、みんなで子どもを見守っていける状況を作り出しています。

## 学童保育をめぐる最近の動き



### 政府の子育て支援策の抜本改革案

6月23日、政府発表の内容は、子育て関連の財源を一括して市町村に配り市町村の裁量で地域のニーズにあったサービスを提供できるようにするもので、子どものいる全家庭を対象とする「基礎給付」と、働きながら子育てする家庭への援助の2段階に支援策を再編するものです。この「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」に沿った法案を2011年の通常国会に提出し13年度の施行を目指すものです。

ここで看過できないのは、『放課後児童給付（仮称）として「指定事業者ごとに利用登録する仕組みを導入」し、登録児童数に応じて当該指定事業者に費用保障する仕組みを検討する』としていることで、株式会社やNPO法人など多様な事業主体が参入できるようにし、利用者はサービスを提供する事業者と「公的保育契約」を結び保育サービスを受けます。

現在、国の学童保育の制度は不十分なままで、私達は全国連協を通して「市町村の責任強化」「最低基準の作成」「法的根拠を持った予算措置」などを要望してきました。市町村の裁量が大きくなると、これまで以上に地域間格差が広がる恐れが生じます。必要最低限の水準は国が保障する方向での制度改革となるように要望し取組みを強める必要があります。



## 特別新人研修の報告

《市原教室》市原青少年会館：安藤耕司 45名  
 「遊びっておもしろい！～あたりまえだけどね～」と銘打って、あそびの楽しさを伝えるには指導員自身が楽しむことが大切だと遊びながら教えてもらいました！最後には、「シェアリング」といって、数人で輪を作り、「一番おもしろかった、つまらなかったのは？」と遊びを振り返る時間があり、とても新鮮で、参加者も盛り上がりました。学童でも、遊んでいるときのトラブルではなく、「遊び」を深める話し合いをしていきたいですね！



子どもたちに遊びの楽しさを伝えよう！  
 平成 22 年 5 月 30 日(日)

《大網白里町教室》大網白里町中央公民館：荒牧光子さん 39名

子どもたちを遊びに引き込んでいくための「言葉かけ」をはじめ、おもちゃの1万円札を使った何故か本気の「じゃんけん遊び」やグループ戦での色々な遊びを教わりました。残り少ない時間での交流会では、おやつの中身、調理方法などの話題で盛り上がり、1年目の指導員の戸惑いを、経験のある指導員が体験談を話すなど、意義のある交流会ができました。



## 千葉県学童保育連絡協議会総会報告

平成 22 年 6 月 13 日、船橋市中央公民館で「千葉県連総会」が開かれました。まず、千葉県保育問題協議会田島氏より 60 年前より保育の基準は変わっていない現状と、全国研は目的ではなく手段であり、広がり広げてがんばって欲しいと話されました。また全国連協 事務局長木田氏より、すべての市町村から後援依頼を受け、それぞれの協議会が強くなり県連も前進してほしいと話されました。議長選出後は、議案書により「活動報告」「決算報告」「活動方針」「予算提案」と続き、それぞれ承認されました。予算については個人会員数の増員に対し「達成可能か」の質問もあり、全国研を利用し団体組織のないところで個人会員をつるの説明をしました。役員提案は、本年度より流山市から山口氏が常任幹事として、事務局には大味氏が新任し、承認されました。その後の地域交流では、それぞれの地域でかかえる問題についての議論が多くあるなか、地域での組織作りや全国研での要員についての働きかけの様子なども話す地域もありました。

